

 <p>そうふうPartⅢ</p> <h1>爽 風</h1> <p>発行者: 校長 下地美和子</p>	<p>学校教育目標 創造性にあふれ 心豊かでたくましく 生きる児童の育成</p> <p>目指す児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子(凡事徹底) 	
<p>★しんけんに もちあじいかして じぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小</p>		

「ことばのちから」について ～校長先生のお話朝会～

12月5日に行われた校長先生のお話朝は、木村玄司氏の教育講演会を元に組み立て、「ことば」について子ども達と共に考える機会としました。冬期のミニバスケット大会で優勝した奏太さんと功輝さんに手伝ってもらい、「出来る！」または、「出来ない！」と声をかけられると、圧倒的に「出来る！」と声をかけてもらった方がその人の力が出る事を実験しました。

言葉には、自分の言ったこと実現に向かわせる働きがあること、人の脳は、相手と自分の区別がつかないので、相手に良いことを言うと、自分も良くなろうとする働きがあること、また、良い・悪いの区別がつかないので、相手に悪い言葉を使っても自分に現実可しようとする、などの話をしました。

「ことばのちから」を活用し、より良い言葉をたくさん使って、未来を良い方に好転し、下地っ子みんながウェルビーイング（しあわせ）になると良いですね。



<p>ことばには</p> <p>自分のいったことばを じぶん 実現させるはたらきがある</p>	<p>脳のはたらき</p> <p>相手と自分の 区別がつかない 良い・悪いの 区別がつかない</p> 
<p>てんし 天使</p>  <p>よいことが たくさんおこる</p>	<p>あくま 悪魔</p>  <p>このことばを たくさんいうと いいことが おきにくくなる。</p>
<p>よくなることばをつかうと 自分やみんなにとって これからの未来が すごく良くなる</p> 	<p>良くなる・しあわせになる = ウェルビーイング</p> <p>夢がかなう。 したいことができる。 友達も自分も幸せになる。 心があたにかくなる・感動する。 あだやかな やさしい気持ちですごせる。</p> 

いのちの授業「誕生学」

助産師: 知念菜穂子さんのご講話

12月3日は、助産師の知念菜穂子さんを講師にお招きし、全校児童を低・高学年に分け、「誕生学（いのちの授業）」を開催しました。

「誕生学」の知念さんのお話はとても温かく、そしてエネルギッシュでした。私たちがどのようにお母さんのお腹の中で育ち、どのようにして生まれてきたのか。その奇跡的なストーリーに、子どもたちは身を乗り出して聞き入っていました。

特に盛り上がったのは、実際に赤ちゃんが生まれる力や、命の始まりの大きさ（針の穴ほど！）を知る場面です。「えーっ！」「すごい！」という驚きの声が教室中に響き渡りました。

その後、約3キロをおなかに抱える妊婦さんの体験、産道を通って生まれてくる体験を行いました。

知念菜穂子さんからの「生まれてただけで、みんな100点満点なんだよ」というメッセージは、子どもたちの心に届いたようです。自分の命、そして友達の命を大切にする気持ちが、また一つ生まれた素敵な時間となったように思います。その後、6-1の招待給食に入り、子ども達と高学年の立場としてのお話をしながら、充実した時間を過ごしました。知念菜穂子さん、貴重なお話をありがとうございました。

